

内航船舶輸送統計速報 (平成31年(2019年)4月分)

1. 概況

総輸送量は、28,254千トン(対前年同月比0.7%増)、13,998百万トンキロ(対前年同月比1.7%減)であり、大型鋼船は17,321千トン(対前年同月比3.1%増)、9,848百万トンキロ(対前年同月比2.3%増)、小型鋼船は9,204千トン(対前年同月比2.5%減)、3,870百万トンキロ(対前年同月比9.8%減)であった。

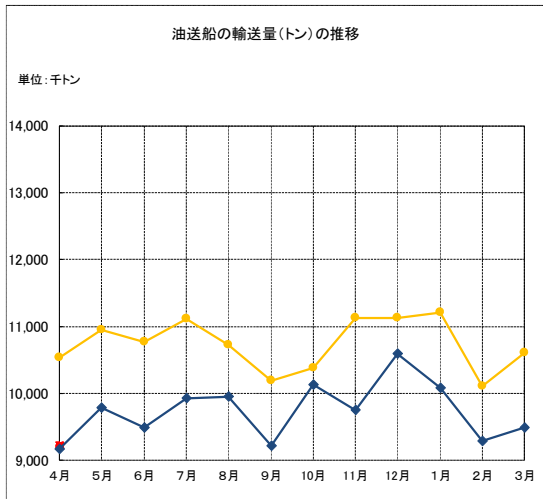
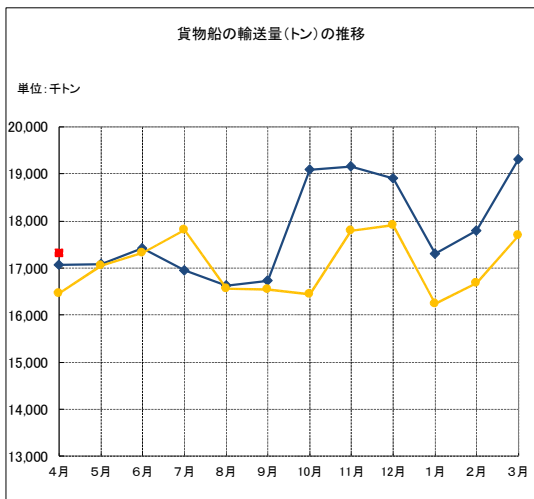
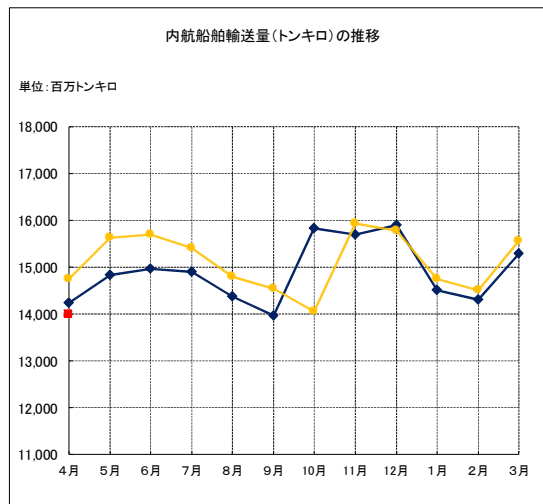
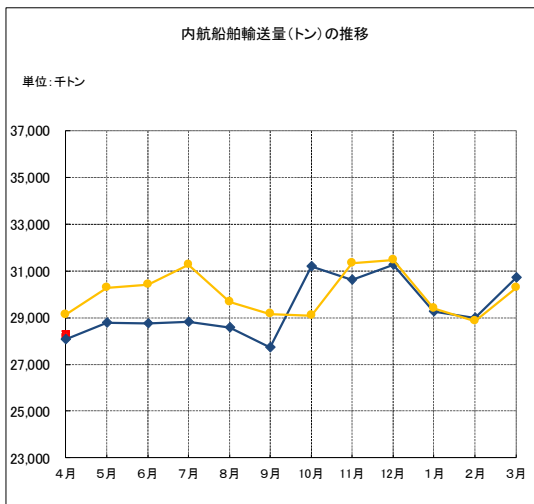
貨物船は17,311千トン(対前年同月比1.5%増)、8,773百万トンキロ(対前年同月比2.2%減)であった。

油送船は9,214千トン(対前年同月比0.5%増)、4,945百万トンキロ(対前年同月比0.0%増)であった。

プッシュャーバージ・台船は1,729千トン(対前年同月比5.8%減)、280百万トンキロ(対前年同月比13.6%減)であった。

2. 用途別輸送実績

項目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合計	28,254	100.7	13,998,097	98.3
大型鋼船	17,321	103.1	9,847,847	102.3
小型鋼船	9,204	97.5	3,869,768	90.2
プッシュャーバージ・台船	1,729	94.2	280,483	86.4
貨物船	17,311	101.5	8,772,725	97.8
油送船	9,214	100.5	4,944,889	100.0
プッシュャーバージ・台船	1,729	94.2	280,483	86.4



凡例：●平成29年度(2017年度) ◆平成30年度(2018年度) ■平成31年度(2019年度)

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査(基幹統計調査)」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL: 03-5253-8111 FAX: 03-5253-1567

担当: 小林(内線 28-742)、高野(内線 28-743)